

研究課題名	右側胸部誘導でのペースメーカー波形による右室リード位置の検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 循環器科 氏名 永田恭敏
研究期間	(西暦) 2019年 3月 ~ 2021年 3月
研究の意義・目的	ペースメーカーの右室リードの位置の推定を簡便に正確に評価する指標の検討は重要であり、右側胸部誘導によるその評価能は申請番号29008での研究において有用である可能性が示唆された。後ろ向き研究ではバイアスがかかってしまうため、今回前向きに評価を行った。また、前回使用した導出右側胸部誘導は、実際に右側胸部誘導と同波形であると報告されているものの、施行できた施設は限られており、実際の右側胸部誘導を使用して検討を行った。評価項目は、年齢、性別、ペースメーカーの適応、ペーシングQRS波形、リード抵抗、右室リード位置である。解析については2021年3月で終了とする。意義としては、今回の心電図評価が確立すれば、多くの施設でペースメーカーを植え込む際に安全な部位に植え込むことが可能となることが期待される。
研究の方法 (対象期間含む)	武蔵野赤十字病院循環器科で2019年3月～2021年3月に房室ブロックに対してペースメーカー移植術を施行した患者を前向きに検討する。右側胸部誘導を手術中にチェックすることは侵襲を全く伴わない。解析方法は2群の比例の比較にはカイ2乗検定あるいはFisherの正確検定、3群以上の比較にはANOVA検定を使用した。研究機関は2019年3月～2021年3月を予定している。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①登録される臨床データはまずカルテに保存され、アウトカム評価終了後に、患者の個人情報を含まない形で別のPCに保存し、匿名化が維持される。学術発表および論文投稿を目的とする。 ②年齢、性別、ペースメーカーの適応、ペーシングQRS波形、リード抵抗、右室リード位置を評価する。ペーシングQRS波形は実際の右側胸部誘導も通常の12誘導に加えて評価する。 ③データの利用は下記の責任者に限られる。 ④永田恭敏
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 循環器科 氏名 永田恭敏 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525